

枯死による倒木が深刻化！  
羽黒山のスギ並木

山形を代表する素晴らしい景観が、  
このままでは消えてしまうかも知れません。  
かけがえのない山形の宝物を次世代につなげ、  
山形が誇る景観として未来へ残しましょう。

第三弾

守ろう！山形の宝物  
つなげよう！美しい景観を未来へ

# 山形の宝 応援定期

取扱期間 2025年6月2日(月)～2026年3月31日(火)

預入期間  
5年

年**0.500%** (税引後  
年0.398%)

〈店頭表示金利+0.200%〉

虫害や温暖化の  
被害甚大！  
蔵王の樹氷

当該預金残高の  
**0.01%**  
相当額を  
(上限200万円)

「樹氷復活・育成応援基金」及び

「羽黒山スギ並木保全とまちづくり協議会」に対し寄付を行います。

※2026年3月31日時点での預金残高となります。※お客さまのご負担はございません。※寄付先は銀行に一任となります。

## 商品概要

お取扱期間 2025年6月2日(月)～2026年3月31日(火)

対 象 法人および個人のお客様

預金種類 スーパー定期 ※原則、総合口座及び通帳式の自動継続型

預入金額 10万円以上の新規預入

預入期間 1年・3年・5年

取扱店 全営業店 (SBIさくらんぼ支店を除く)

適用金利

預入期間	適用金利	店頭表示金利	上乗金利
1年(単利)	年 <b>0.350%</b> (税引後 年 <b>0.278%</b> )	年 <b>0.225%</b>	+ <b>0.125%</b>
3年(複利)	年 <b>0.450%</b> (税引後 年 <b>0.358%</b> )	年 <b>0.250%</b>	+ <b>0.200%</b>
5年(複利)	年 <b>0.500%</b> (税引後 年 <b>0.398%</b> )	年 <b>0.300%</b>	+ <b>0.200%</b>

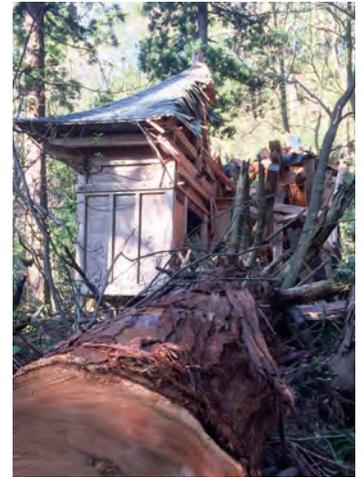
注意事項 適用利率は、税引前であり、利息には20%の税金がかかります。但し、2013年1月1日～2037年12月31日までにお受取りいただく利息については復興特別所得税が追加課税され、20.315%の税金がかかります。なお、税引後の金利につきましては、小数点第4位以下切り捨てて表示しております。特別金利が適用になるのは当初の預入期間のみであり、満期日以後は自動継続時の店頭表示金利となります。満期日前の解約に際しては、当行所定の中途解約利率を適用します。金融情勢によりお取扱いを中断・変更する場合がございます。この上乗せ金利は、他商品の上乗せ金利との併用はできません。募集総額に達した場合は、取扱期間中でも募集を終了させていただきます。インターネット専用支店、ATMでのお取扱はしていません。店頭商品説明書をご用意しております。本商品は預金保険の対象であり同保険の範囲内で保護されます。(2025年6月2日現在)

# ともに生きる、山形のために。

## 植林から実に400年。老朽化が進む羽黒山のスギ並木

**羽** 黒山山頂へと続く参道を飾るスギ並木は、国の特別天然記念物に指定されるなど、壮大にして美しい景観で、私たちの目を楽しませてくれます。また近年は海外からもミシュラン三つ星の評価を与えられ、多くの外国人旅行者が訪れるなど、地域の観光資源としても大きな役割を担っています。しかし、**植林から約400年経った今、なかには老朽化によ**

**る腐食が進んだ古木も多く、枯死によるスギ並木の消失、また倒木による観光客や歴史的建造物への被害が懸念されています。**そんな被害を未然に防ぐため、羽黒山スギ並木保全とまちづくり協議会が設立され、羽黒山の参道の景観を守る施策ははじまりました。現在は先進地の事例調査や研究が行われ、保全に向け計画の策定が進められています。



2017年4月、倒木が埴山姫神社を直撃した

## 山頂付近のアオモリドマツ林が広範囲に枯死する深刻な状況に

**山** 形の冬のシンボルとして、また学術的に世界でも稀有な自然現象として知られている蔵王の樹氷。その美しくも荘厳な姿からアイスモンスターと呼ばれ、世界から多くの注目を集めています。しかし、**蔵王の山頂付近で樹氷を形づくっているアオモリドマツが、近年に入り立ち枯れの危機を迎えています。**それは、年々深刻化する温暖化や虫害を原因とす

るもの。現在、自然回復は見込めない状況のようで、**今後私たちが知る樹氷の姿は見られなくなる可能性があります。**アオモリドマツの成長には非常に長い時間を要すなど、まだまだ多くの課題を抱えています。国や県では、アオモリドマツを種から育てたり、自生の苗を移植するなど、蔵王の樹氷を復活するための取り組みが行われています。



以前のアオモリドマツ



現在のアオモリドマツ



じもとグループは、国連が提唱するSDGsの趣旨に賛同し、持続可能な社会の実現に向けて、外部連携も活用しながら、社会的な課題の解決に積極的に取り組んでまいります。